

新潟市自転車利用環境計画の策定（H22.3）

■背景

- ・ 市民の環境問題や健康意識の高まり
- ・ 通勤等における自動車依存度の高さ
- ・ 自転車による歩行者や自動車との事故が問題視
- ・ 常態化する路上放置自転車 等

■目的

- ・ 歩行者の安全確保
- ・ 自転車の交通事故の削減
- ・ 環境にやさしい、健康にも良い自転車利用の促進

■計画期間

- ・ 平成22年度から平成31年度の10ヶ年

■基本方針

- ・ はしる（走行空間計画）、とめる（駐輪計画）、しくみ（放置自転車対策）、まもる（啓発活動計画）の4本柱とし、歩行者、自転車、自動車が安全で安心して共存できる道路空間を構築

■施策メニュー

- ・ 36メニュー

■目標値の設定

- ・ ネットワーク路線の自転車走行空間整備延長：154km
- ・ 駐輪場の収容台数：新潟駅周辺4,500台、古町地区2,000台、万代地区1,000台

■計画の評価

- ・ PDCAサイクルを導入し、確実な進捗管理を行い、継続的な計画の推進を図る。

新潟市自転車利用環境計画の改訂（H26.3）

■改訂の背景

- ・ 自転車の危険運転による社会問題化、車道左側通行を基本とする道路交通法改正、国土交通省・警察庁によるガイドラインの策定などの環境変化を踏まえるとともに、新潟市で平成24年12月に施行した「新潟市公共交通及び自転車で移動しやすく快適に歩けるまちづくり条例」と整合を図りつつ、より実効性を高めるための施策の重点化等を図る。

■施策メニューの拡充・集約化、重点化

- ・ 22メニュー（最重点：5メニュー、重点：7メニュー、その他：10メニュー）

■中間目標値の設定（H29末までの目標）

- ◆アウトプット指標（最重点メニューの実施により達成すべき活動指標）
 - ・ ネットワーク路線の自転車走行空間整備延長：約48km／154km
 - ・ 駐輪場の収容台数：古町地区1,350台／2,000台、万代地区600台／1,000台
 - ・ 街頭での直接指導：1年に1回以上啓発活動を実施する整備済み路線数を8路線に増加
- ◆アウトカム指標（22の施策メニューの実施により達成すべき成果指標）
 - ・ 自転車分担率の向上
 - ・ 自転車事故の削減
 - ・ 通行区分順守率（車道左側走行の割合）の向上
 - ・ 古町、万代地区における路上駐輪台数の削減

■計画の評価

- ・ 平成29年度末までに「新潟市自転車利用環境推進委員会」を開催し、中間評価を実施

中間評価

新潟市自転車利用環境推進委員会の開催（H29年度 2回予定）